

発行日 2025-04-03

バージョン 1

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 Streptavidin (APC Conjugate)

製品コード 15859

### 安全データシートの供給者の詳細

#### 製造者

Cell Signaling Technology  
3 Trask Lane  
Danvers, MA 01923  
United States  
電話 +1 978 867 2300  
ファックス +1 978 867 2400  
メールアドレス

#### 販売業社

CSTジャパン株式会社  
東京都千代田区内神田1-6-10  
笠原ビルディング10階 〒101-0047  
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 ライフサイエンス研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

発がん性	区分 1A
------	-------

### GHSラベル要素



#### 注意喚起語

危険

#### 危険有害性情報

H350 - 発がんのおそれ

#### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

#### 応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。

#### 保管

施錠して保管すること。

#### 廃棄

内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

### 他の危険有害性

情報なし。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名又は一般名	混合物 CAS番号	重量%	化審法インベ ントリ	化審法番号	安衛法インベ ントリ	安衛法番号
ペンタクロロフェノール	87-86-5	<1	情報なし	(3)-2850	情報なし	4-(10)-585

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移すこと。
皮膚に付着した場合	皮膚を石けん(鹼)と水で洗うこと。
眼に入った場合	まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な 徴候症状	情報なし。

医師に対する特別な注意事項 症状に応じて治療すること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	情報なし
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること。
消火活動を行う者の特別な保護具及び 予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。
その他の情報	警告: 放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊 急時措置	十分換気されているか確認すること。可燃性物質および可能であれば危険にさらされた全ての容器を取り除く。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。
封じ込め方法	安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。

浄化方法	回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

**安全取扱注意事項** 産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。保護具を着用する。十分換気されているか確認すること。

### 保管

**安全な保管条件** 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

化学名又は一般名	労働安全衛生法 作業環境評価基準 - 管理濃度
ペンタクロロフェノール	0.5mg/m <sup>3</sup>

### 許容濃度

化学名又は一般名	ISHL濃度基準値	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
ペンタクロロフェノール 87-86-5	-	TWA: 0.5 mg/m <sup>3</sup> S* C2B ISHL/ACL: 0.5 mg/m <sup>3</sup>	S* STEL: 1 mg/m <sup>3</sup> inhalable fraction and vapor TWA: 0.5 mg/m <sup>3</sup> inhalable fraction and vapor

**生物学的許容値** 供給時の状態のこの製品は、報告義務のある生物学的ばく露限界値が設定されていない物質又は現地当局の報告要件の対象とならない物質を含んでいる。

**設備対策** シャワー  
洗眼場  
換気システム

**環境ばく露防止** 情報なし

### 保護具

**呼吸用保護具** 【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

**手の保護具** 不浸透性手袋

**眼及び／又は顔面の保護具** 密着性の高い安全ゴーグル、顔面シールド

**皮膚及び身体の保護具** 適切な保護衣を着用すること

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的及び化学的性質に関する情報

外観	粉末、凍結乾燥したケーキ	
物理状態	固体	
色	情報なし	
臭い	情報なし	
<b>特性</b>	<b>値</b>	<b>備考・方法</b>
融点/凝固点		情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		情報なし
爆発上限界		
爆発下限界		
引火点		利用可能な情報はない
蒸発速度		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		利用可能な情報はない
SADT (°C)		情報なし
pH		情報なし
粘度		
粘度		情報なし
粘度		情報なし
水への溶解度		情報なし
他の溶剤への溶解度		情報なし
n-オクタノール／水分配係数(log値)		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び／又は相対密度		
相対密度		情報なし
蒸気濃度		情報なし
かさ密度		情報なし
相対ガス密度		情報なし
粒子特性		
粒径		該当しない
粒径分布		該当しない

## 10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定
避けるべき条件	熱、光から遮断すること
混触危険物質	提供された情報に基づき知見なし
危険有害性分解生成物	提供された情報に基づき知見なし
爆発データ	
静電放電に対する感度	なし
機械的衝撃に対する感度	なし

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

## 毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ペンタクロロフェノール	= 27 mg/kg (Rat)	= 40 mg/kg (Rabbit)	-

症状 情報なし

## 製品情報

経口 この製品に関する情報なし

吸入 この製品に関する情報なし

皮膚接触 この製品に関する情報なし

眼接触 この製品に関する情報なし

皮膚腐食性/刺激性 情報なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 情報なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性 情報なし

## 発がん性

化学名又は一般名	日本産業衛生学会	IARC
ペンタクロロフェノール 87-86-5	1A	Group 1 Group 2A Group 2B

生殖毒性 情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露) 情報なし

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 情報なし

## 12. 環境影響情報

生態毒性 この製品の環境に与える影響は完全には調査されていない。

化学名又は一般名	藻類/水生植物	魚類	甲殻類
ペンタクロロフェノール	EC50 0.005 - 0.3 mg/L (Pseudokirchneriella subcapitata) 96 h EC50 0.1 mg/L (Pseudokirchneriella subcapitata) 72 h EC50 0.183 mg/L (Desmodesmus subspicatus) 72 h	LC50 0.079 - 0.187 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 0.11 - 0.49 mg/L (Pimephales promelas) 96 h LC50 0.031 - 0.038 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 0.102 - 0.128 mg/L (Oncorhynchus mykiss) 96 h LC50 0.103 - 0.129 mg/L (Lepomis macrochirus) 96 h LC50 0.170 - 0.3 mg/L (Oryzias latipes) 96 h	EC50 0.138 - 0.307 mg/L (Daphnia magna) 48 h

		LC50 0.36 mg/L (Poecilia reticulata) 96 h	
--	--	---	--

残留性・分解性 情報なし

生態蓄積性 この製品のデータはない。

化学名又は一般名	分配係数
ペンタクロロフェノール 87-86-5	5.01

他の有害影響 情報なし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規制

**IMDG** 規制対象外  
IMO規則に従った海上ばら積み輸送  
情報なし

**ADR** 規制対象外

**IATA** 規制対象外

#### 国内規則

項目15を参照。消防法、毒劇法、高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法に該当する場合はそれぞれの規定に従う。

#### 日本

国連番号又はID番号 UN3155  
品名(国連輸送名) Pentachlorophenol  
国連分類(輸送における危険有害性9  
クラス)  
容器等級 II

### 15. 適用法令

#### 国内規制

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

化学名又は一般名	含有率 %	区分	管理番号
ペンタクロロフェノール 87-86-5	<1	特定第1種指定化学物質	404

#### 労働安全衛生法

化学名又は一般名	区分	含有率 %
----------	----	-------

化学名又は一般名	区分	含有率 %
ペンタクロロフェノール 87-86-5	安衛法表示対象物質 (令和7年 4月1日以 降) / がん原性物質	<1

## 16. その他の情報

発行日 2025-04-03

改訂記録 SDSの余白にある記号(\*)は、その行が改訂されたことを示す。

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値

\* 皮膚兆候

Ceiling:

+

最大限值:

感作物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)

米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局

欧州食品安全機関(EFSA)

米国環境保護庁

急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)

米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法

米国環境保護庁高生産量化学物質

フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)

危険有害性物質データベース

国際統一化学情報データベース(IUCLID)

製品評価技術基盤機構(NITE)

オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)

米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)

米国国家毒性プログラム(NTP)

ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)

経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書

経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム

経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット

世界保健機構

### 免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終